

捨石規格の見直しによるコスト縮減

工事名：山元海岸S2号突堤工事

概要：ヘッドランドの堤体の捨石材料の規格(重量)は水深により決められています。今回、堤体内に安価な中詰石を使用し、被覆石で覆う断面構成に変更することによってコスト縮減を図ります。

効果：

- ・中詰石を50～500kgを採用することにより、空隙率が少なく堤体密度が大きくなり安定した堤体の確保できます。
- ・堤体捨石の材料費を、**44百万円**から**40.5百万円**に縮減。
(縮減額 3.5百万円、縮減率約 8.0%)

